

(第2回) 感染症研究拠点の形成に関する検討委員会
議事概要

日時	: 2017年2月15日 (水) 15:00 ~ 16:00
出席者	: 別添の通り。
場所	: 中央合同庁舎8号館5階共用会議室C(520)

- BSL4 施設を中核とした感染症研究拠点において、病原体に関する基礎研究、治療薬の研究開発及び人材育成を推進する体制を早期に構築することにより、国内で感染症が発生した際に、医療品等や人材を迅速に投入できるなど、我が国の危機管理能力の強化が図られることになる。この意味で、長崎大学の BSL4 施設は、日本全体の課題としてしっかり支援していくことが重要。また、そのことを国民一人一人に認識して頂くことも極めて重要。【内閣官房】
- 住民の理解促進のために海外調査を行うことにご配慮いただき感謝。海外調査の結果を地域の方々に伝えていく努力が必要。施設周辺の反対・賛成の住民や長崎全県の住民に対して国、大学がしっかりやっている姿勢を更に示していただきたい。【長崎県】
- 世界最高水準の安全性の確保とその担保への国の関与について、本報告書に盛り込んでいただき感謝。施設の建設は始まったばかりであり、住民の理解促進のため、安全性の確保に更にご尽力いただきたい【長崎市】
- 海外調査については、地域連絡協議会において報告を行いたいので、国にもご協力いただきたい。【長崎大学】
- 世界最高水準の安全性の確保には、セーフティとセキュリティの2つがあるので、長崎ではどう考えているのかをわかりやすく示すべき。【国立感染症研究所】
- 地域に開かれた大学を担保しながら、いかに安全性を高めるかをこれから検討したい。厚生労働省や国立感染症研究所にもご意見をいただきたい。また、まだ基本構想の段階であるが、今後地元の警察、消防にも相談していきたい。海外施設のセキュリティの情報については、我々の知らないことも多いので、今後調査していきたい。【長崎大学】
- 長崎において BSL4 施設整備に使命感を持って取り組んでいることに敬意を表するとともに、今後も関係省庁、大学、長崎県、長崎市が連携・協力してやっていきたい。また、住民との信頼関係の構築に向けても、世界最高水準の安全性の確保と住民理解のより一層の促進にしっかり取り組んでいきたい。【内閣官房】

以上

(別添)

(第2回) 感染症研究拠点の形成に関する検討委員会
出席者

氏名	役職
山田 安秀	内閣官房内閣審議官 (国際感染症対策調整室長) <主 査>
永井 達也 (代理: 原 幸太郎)	内閣官房内閣審議官 (危機管理審議官) (内閣参事官 (副長官補 (事態対応・危機管理担当) 付))
大島 一博 (代理: 門田 公秀)	内閣官房内閣審議官 (健康・医療戦略室次長) (内閣参事官 (健康・医療戦略室))
板倉 康洋	文部科学省大臣官房審議官 (研究振興局担当)
橋本 泰宏	厚生労働省大臣官房審議官 (健康、生活衛生担当)
脇田 隆字 (代理: 森川 茂)	国立感染症研究所副所長 (獣医科学部長)
調 漸	国立大学法人長崎大学学長特別補佐 (高度安全実験施設担当)
森田 公一	国立大学法人長崎大学熱帯医学研究所長
濱本 磨毅穂	長崎県副知事
三藤 義文	長崎市副市長